

ジェミノイド(遠隔操作型アンドロイド)

(ATR知能ロボティクス研究所・大阪大学)

私達は人の「存在感」(特定の人が側にいる感覚)に着目した研究をしています。人の持つ存在感はどこからやってくるのか？人の存在感は技術によって伝達、再現できるのか？この疑問を探求するために、さまざまなアンドロイドの開発を通じて研究を行っています。



ジェミノイド

インターネット



オペレータ

- ・遠隔地から自分の存在感を伝えることができます。
- ・誰でも簡単に操作することができます。
- ・インターネットを使う事によって世界中どこからでも操作できます。



石黒教授とそっくりGeminoid HI-1



実在の女性とそっくりのGeminoid F

遠隔地への存在感の伝達

ジェミノイドを使えば、自分の存在感を感じさせることで、遠隔地の相手に対してもより自然な対話の実現できると考えられます。本研究では、これを実現するための基本的なインターフェースの設計・実装に取り組んでいます。また実際にジェミノイドを用いて、存在感を伝達するために欠かせない要素を同定する実験を行っています。



遠隔地への身体感覚の転移

自分が操作するジェミノイドが触られたとき、そのオペレータには、あたかも自分自身が触られたかのような感覚が生じることがあります。このような感覚は身体感覚の転移といい、脳科学でも注目されている現象であり、ジェミノイド開発においては、自然な遠隔操作の指標と捉えられます。本研究では、このような身体感覚の転移が起こる条件を解明する研究を進めています。



人の存在感を伝達するミニマムデザイン



Telenoid R1

Telenoid R1は、人に見える最低限のデザイン、言い換えると、誰にでもなり得る外見を持つものとして作られました。実在の人がTelenoid R1に対してその存在感を投影することの実現と検証に取り組んでいます。また、老人ホームや在宅介護などの現場にて、人の心のサポートを遠隔で行うツールとしての応用を検討しています。



「孫のように見える？」